

富山全体の感染症医療の目標 (私案)

- 日本海側の感染症医療(診療・研究・教育)の拠点となる
- 感染症医療人材養成モデル県となる



富山大学附属病院 総合感染症センター

地域に根ざした診療、世界で戦い抜く研究、考える力を涵養する教育

臨床部門

診療分野

臨床研究分野

- 第二種感染症指定病床を有し、あらゆる感染症に対して24時間365日対応
- 感染症専門医の継続的育成
- 血中・組織内抗微生物薬濃度測定にて個別化治療を確立

研究開発・検査部門

研究開発分野

検査分野

創薬分野

- 血液培養を経ずに、敗血症原因菌を迅速(採血後4~5時間)に同定かつ定量。感染症新規バイオマーカーの開発(AMED ACT-MS及びACT-Mに採択)
- COVID-19に対するヒト・スーパー中和抗体UT28Kの実用化

基礎部門

細菌学分野

ウイルス学分野

- 薬剤耐性菌感染症や新興・再興感染症に対応できる疫学及び病態の解明と基礎研究(マイクロバリオーム研究, COVID-19中和抗体開発(AMEDに採択)など)の実施
- 基礎と臨床の橋渡しができる人材育成

各部門の特徴

令和2年度大学改革推進等補助金「感染症医療人材養成事業」

令和3年度大学改革推進等補助金「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」

令和4年度大学教育再生戦略推進費「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

感染症指定医療機関における 感染症専門医の在籍率

	特定・第一種感染症 指定医療機関	第二種感染症指定 医療機関	感染症専門医数
2014年	66.7% (28/42 施設)	22.9% (76/332 施設)	1187名
2020年	77.2% (44/57 施設)	28.5% (100/351 施設)	1560名
2022年	86.2% (50/58 施設)	32.2% (113/351 施設)	1690名

第二種感染症指定医療機関：感染症病床を有するもの、結核病床のみは含まない

2014年：専門医数(2014年1月29日現在), 指定医療機関(2013年4月1日現在)

2020年：専門医数(2020年6月12日現在), 指定医療機関(2019年3月31日現在)

2022年：専門医数(2022年6月17日現在), 指定医療機関(2021年10月1日現在)

富山県における感染症診療状況

	県立中央 病院	富山市民 病院	富山大学 附属病院	黒部市民 病院	砺波総合 病院	高岡市民 病院
感染症指定医 療機関	1種 2床	2種 6床	2種※ 3床	2種 4床	2種 4床	2種 6床
常勤専門医数 (2012年9月)	なし	なし	1	なし	1	なし
常勤専門医数 (2020年1月)	1	なし	2	非常勤 のみ	1	なし
常勤専門医数 (2022年1月)	1	非常勤 のみ	5	非常勤 のみ	1	1

非常勤医師は週1回程度大学病院より派遣

※2020年5月より指定

全国および富山県の感染症専門医数

2030年までに富山県内感染症専門医数30名を達成する

